



### 運転時間30,000時間を超えたら

# リフレッシュメンテナンス

ご利用中の保守契約は、**設置後13年または運転時間30,000時間を超えますと定期点検契約に切替ります。**リフレッシュメンテナンスを実施いただくことで、大変お得で安心なフルメンテナンス契約を延長することができます。

【例】年間運転時間4,000時間の場合



リフレッシュメンテナンスは、設置後13年未満で運転時間が3万時間に達する機器を対象に、エンジン系、冷媒系、保安関係部品等の交換、整備をおこない機器の延命を図る有償サービスです。

### メリット 1 フルメンテナンス契約が継続できます!

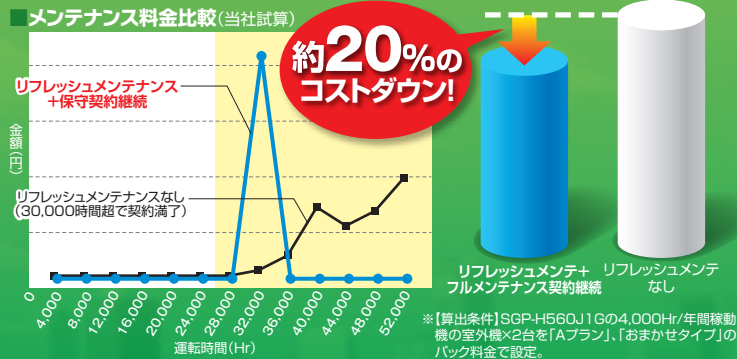
フルメンテナンス契約なら修理対応が含まれていますので、見積りや決裁に時間をかけることなくスピーディーに復旧でき、契約料金以外の費用はかかりません。

### メリット 2 突発故障・機器のダメージを最小限に抑えてベストな運転!

運転時間30,000時間を超えると部品の故障リスクが高まります。それらを事前に交換することで、機器の突発故障を未然に防ぎ、以後も定期点検による不具合の予測・対応により安心してご使用いただけます。

### メリット 3 生涯メンテ費用をコストダウン!

運転時間30,000時間超過時にリフレッシュメンテを実施すると、52,000時間経過時には、契約満了した場合と比較して約20%のコストダウンになります。



お客さまごとに異なる運転時間や環境、機械の状態に合わせ最適なプランをご用意



リフレッシュメンテ前

リフレッシュメンテ後

| プラン  | 内容  | 契約延長内容       | 延長期間                             | 契約料金      |
|------|---|--------------|----------------------------------|-----------|
| Aプラン | エンジン圧縮機本体の交換を中心とした、磨耗・経年劣化部品(保安関係部品含む)、主構成部品等の一式交換。   | 既存契約の延長      | 5年または2万時間まで保守契約                  | 既存料金据え置き  |
| Bプラン | エンジンシリンダーヘッド交換を中心とした、磨耗・経年劣化部品(保安関係部品含む)、主構成部品等の一式交換。 | エンジン以外は保守契約  | 3年または1万時間までエンジン本体以外は無償(重量物搬入も別途) | 既存料金据え置き  |
| Cプラン | Bプランをベースに、対象を磨耗部品中心に限定した主要部品の一式交換。(保安関係部品含む)          | 準フルメンテ(部品有償) | 3年または1万時間まで準フルメンテ(部品有償)          | 既存料金の1.3倍 |

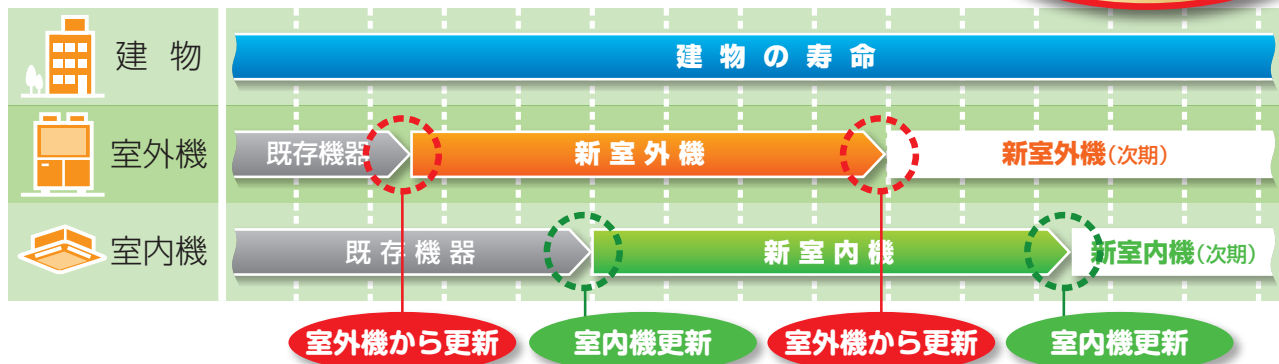
# 他にもお得なメンテナンスメニューを取り揃えております

## 室外機から更新

**業界実績No.1!!**

※業界に先駆け、  
2006年から開始

室内機の入替タイミングを後にずらして、室外機から先行でリニューアル。  
現在お使いの室内機を、リニューアル時期\*までそのままご使用いただけます。



### 投資分散

室外・内機の入替タイミングをずらすことで、投資分散による資金の有効活用が図れ、柔軟な入替計画が立てられます。

### 省施工・短工期

配管や配線をそのまま再利用できますので、施工コストを抑え、空調停止時間も最短に抑えることができます。

### 省エネ

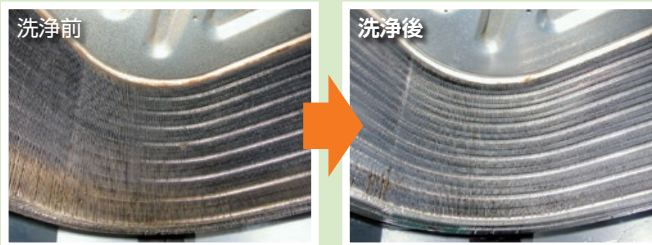
最新の室外機に入れ替えることで、大きな省エネ効果を発揮します。

※室内機のリニューアルは、同一冷媒系統の全室内機を室外機更新後3年または6,000時間以内に更新するようお願いいたします。早期から省エネ効果を高めることができ、保守契約料金も1年未満で契約した場合の料金が適用されます。(3年または6,000時間を超過すると、室内機入替に合わせて再度契約更新する必要があり、契約料金も割増になっていきます。)

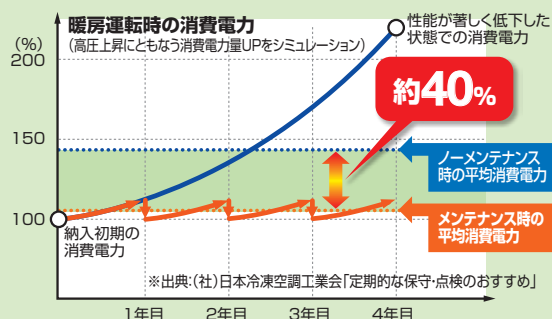
## 室内機洗浄

「室外機から更新」とセットでの実施をおすすめします!

省エネ効果を最大限引き出すためにも、室外機のリニューアル時期に合わせて、**室内機洗浄**をおすすめします。熱交換器やフィルターの清掃で、大きな省エネ効果が得られます。



### ノーマンテナンスによる消費電力の増加(例)



こんな  
プランも  
あります

### 配管 組み替え

複数台設置の室外機に使用頻度の高い系統と低い系統が混在する場合、**室外機の配管・配線を組み替えることで稼働率の平準化を図り、システム全体をバランス良く稼働させる**ことができます。システム全体の長寿命化にもつながります。

●お問い合わせはこちらへ…

パナソニック産機システムズ株式会社

〒131-0045

東京都墨田区押上1-1-2

©Panasonic Commercial Equipment Systems Co., Ltd.

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このカタログの記載内容は  
2020年1月現在のものです。